

岩手「道の駅」ネットワーク構築宣言

「道の駅」は全国で1,117カ所となり、地方創生を担う拠点、生活に欠かせない存在となりました。岩手県内の「道の駅」も32カ所となり、本日開催の「道・ネットワークシンポジウム」に、県内の「道の駅」関係者が集いました。

岩手県の「道の駅」は、東日本大震災で防災拠点としての機能を発揮しました。その実績は昨年の熊本地震でも活かされ、改めて災害発生時における「道の駅」の役割の重要性が認識されたところです。

また、「道の駅」は平時においては道路利用者に対する休憩機能や関連するサービスのほか、地元ならではの独自の創意工夫、施設の立地条件や特徴を活かした地域振興のためのサービスを提供するなど、多彩な役割を担っています。

今後一層、「道の駅」の進化、向上を図っていくには、それぞれの「道の駅」の持つ良さや創意工夫について互いに共有し、学びあうなどの取組みが必要です。

そのためには、「道の駅」同士の連携を通じた「絆・ネットワーク」の構築を行い、さらには東北地域、全国へのネットワークの拡大を目指していくことが非常に重要です。

この「道・ネットワークシンポジウム」を、県内「道の駅」のネットワーク構築へのキックオフとし、連携の深化と地方創生の実現に向け、ここ岩手県から発信していくことを誓い、宣言します。

平成29年7月19日

岩手県「道の駅」連絡会